



上下水道料金、22.3%の大幅アップ

2026年度から、実施の方向

吉田おさむ市議は3月10日の一般質問で、2026年度から上水道料金の値上げが検討されている問題を取り上げ、大幅な引き上げを避けるよう強く求めました。

6月議会にも引き上げ提案か

富山市上下水道経営審

議会は2月20日、下水道使用料を19・4%、上水道料金を27・0%引き上げを軸に検討する見通しと報道。吉田市議は、合計額で22・3%（月1220円のアップ）で、市民にとって大幅な負担増と指摘しました。

上下水道事業は、原則「独立採算」で、「一般財源」を入れないことになっていきます。吉田市議は、大幅な引き上げを避けるため、国の財政支援をもとめつつ、一般財源の投入を強く求めました。

当局は、「本来、利用者が負担すべきもので、一般財源を繰り入れをすることは考えていない」と答弁しました。

「補聴器」購入助成を！

認知症の危険因子になるといわれている高齢者の難聴。「補聴器」購入助成制度の創設を、吉田市議が求めました。当局は、調査したいと答弁しました。

「家庭ごみ」も有料化？

藤井市長は「夏頃までに（有料化の）素案を示したいと、3月議会で答弁。赤星市議は、市民とともに減量こそ取り組むべきだと主張しました。

どう思われますか 本当に必要な橋？

呉羽丘陵フットパス連絡橋

「吊り橋」に25億円



供用開始は2026年夏

官製談合事件を起こした事業

この事業をめぐっては、R4年に、前市長の「花道を飾る」ため、在任中にカタチにしたかったと、官製談合事件が起きたのです。

観光ホテル跡地購入に3億円、「吊り橋」本体工事は14億円。周辺広場等の整備を含

3月定例会で赤星ゆかり議員は、「吊り橋」関連事業として、旧・観光ホテル跡地の「特定公園」を3億6千万円で買い取ることを含めたR7年度予算7億4千万円に反対しました。総額約25億円もかける必要性があらためて問われます。